



神奈川県立鶴見支援学校  
地域連携グループ・進路チーム NO. 2  
令和7年6月27日発行

6月半ばになり、梅雨が明けたような暑さが続いています。児童生徒のみなさんは、それぞれの場所で成長の一步を踏んでいます。今回の「進路だより」では、高等部の実習や中学部の作業学習の様子、夏季休業中の進路行事についてお知らせします。

## 実習の様子（本校）

高等部3年生は、6月2日（月）より卒業後の進路に向けた現場実習がはじまりました。3日～10日間程度、希望する福祉事業所で働くことについて実際に体験しながら学んでいます。

初めての場所で、いつもと違う通勤方法や経路に戸惑い、初めての方達の中で初めての作業に緊張や不安顔だった生徒達も、いつの間にか周囲に溶け込み学校では見られない表情や生きいきとした姿を見せてくれています。実習が終わる頃には大きく成長した姿が見られることと思います。

## 実習の様子（分教室）

校内実習は「岸分」という会社に見立て、企業からお預かりした受注作業などに取り組みました。各学年4～5人ずつで、縦割りの3グループをつくり、グループごとに指定された教室（“課”）に“出勤”します。期間は6月9日（月）～6月27日（金）の3週間、1課、2課、3課で仕事は異なり、1週間ごとに“異動”し、3週間ですべての仕事を体験します。

1課は神社の上印押しや紙垂折り、2課はボールペン組み立て・袋入れ、3課はイヤホン・アンテナ部品の袋入れ、岸根高校内の環境整備などの作業に取り組みました。実際に企業等に納品される品物を扱うということもあり、みな一生懸命に取り組みました。とくに1年生は初めての校内実習ということもあり、実践を通してあいさつ・返事やハウレンソウ（報告・連絡・相談）の基本を学ぶことができました。

校内実習と並行し、2・3年生は現場実習にも取り組みました。2年生は初めて一人で企業に出向いて経験する現場実習、3年生は卒業後の進路先を決める現場実習—みな真剣に取り組みました。

## 中学部の作業学習について

中学部の作業学習では、高等部の作業学習に向けて、報告する力や一定の時間集中して作業に取り組む力等、基本的な力を身に着けることを目標に取り組んでいます。

中学部2・3年生は5月から合同の作業学習に取り組んでいます。作業班は4つあり、メモ帳や連絡帳づくりをする製作班、靴下の端切れを使った編み物や割き織りをする手工芸班、牛乳パックからハガキを作る紙工班、モップやスクイジーを使い校内を清掃する清掃班に分かれています。

5月当初は慣れない環境に緊張したり、ソワソワしたりする様子も見られましたが、徐々に慣れてきたようで、集中して作業に取り組む姿などが見られるようになりました。

## 夏季進路行事について

夏休みにいろいろな進路行事があります

- ・企業見学会（保護者、生徒向け）

- ・事業所・企業見学会（教職員研修）
- ・職業相談会（ハローワーク登録）
- ・アフターフォロー（卒後3年間）
- ・事業所見学

また次号に様子をお知らせします。

## お知らせ

- ・「事業所ハンドブック」を小学部1・4年生、中学部1・3年生、高等部に配布しています。該当学年以外にも配布できますので、希望があれば担任にお知らせください。